

【自己診断シート】

債券とは何かを知っている前提でのコンテンツです。シートで「社債」という言葉を引き出します。社債の理解のために、株式の特徴と比較をさせますので、株式に関する事前学習が必要です（「株式の講座/株式会社と株式」参照）。

Aの解説：

学習に入る前に、「社債」を再確認します。

Bの解説：

債券は借金であることを再確認します。

Cの解説：

株式による資金調達が自己資本であるのに対し、社債は他人資本（借金）になります。

設問2の解答と解説： A、B、A、B

債券と株式の違いに、おおまかに触れます。選択肢は比較しやすいと思われ、どちらかが債券か株式だという見当をつけながら進められそうです。

【確認テスト】

[解答] 1：A 2：C 3：B

[解説]

1：社債を発行するということは、投資家から借金をするということですので、返済と利子の支払いが発生します。また、返済には期限もあります。

2：新たに株式が増えるわけですから、株主の数も増える傾向にあります。よってまずBは不正解。株式・株主が増える分、配当も増えるという考えが基本でしょう。税率に影響はありません。

3：配当は経費として認められませんが、社債の利子は会社の経費となります。